

ANNUAL MEETINGS
2026 | THAILAND
INTERNATIONAL MONETARY FUND
WORLD BANK GROUP

October 16, 2026

Address by **KRISTALINA GEORGIEVA**,
Chair of the Executive Board and
Managing Director of the International Monetary Fund,
to the Board of Governors of the Fund
at the Joint Annual Discussions

時間的余裕がない中での
バッファー再構築

クリスタリナ・ゲオルギエバ
国際通貨基金
専務理事

2026 年 10 月 16 日

みなさん、おはようございます。まず、みなさんに感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

- IMF 加盟国の皆さまに感謝します。ここにお集まりの皆さま、そしてワシントンでは素晴らしい理事会が加盟国を代表しています。私たちは、みなさんのお役に立つために存在しています。

- タイの温かいおもてなしにも感謝します。アヌティン首相閣下、こちらの美しい王室御座船のレプリカを見られるのは、なんとふさわしいこと

でしょうか。私たちが全員、同じ船に乗っていることを思い出させます。

- 私たちのパートナーである**世界銀行**の同僚たちにも感謝します。アジェイ、私たちの機関は、違った形で、それぞれの任務を遂行しています。ですが、ともに船を漕いでいます。

- 今年の総務会議長である**カルバロ総裁**にも感謝します。貴国パラグアイは、新興市場国と呼ぶのがはばかられるほどの、あらゆる成熟の証を示しています。

私の同僚たち、IMF のマネジメントと**職員**も評価したいと思います。161 の加盟国（図 1）から集まった職員たちは、全員が世界全体の利益に貢献することを誓っています。どうぞ立ち上がってください。私はみなさんと、みなさんの献身、懸命な仕事をとても誇りに思います。



今日、私に課せられた任務は、**AI によってますます規定されつつある**世界経済の概況を示し、IMF がどのように貢献しているかについて手短に報告することです。

最初に、歴史がどんなに紆余曲折をたどろうと、**世界は改善に向かっている**

という、私の信念から始めたいと思います。しかし、良い成果は与えられるものではありません。それに向けて懸命に取り組まなければなりません。そうする中で、生み出された機会を最大限に生かし、リスクを管理する必要があります。誰であろうと、どこにいようと、すべての人のためにです。

今日、私たちの船は、**テクノロジーと地政学**という波に打ちつけられています。機敏に舵を切り、船を操る私たちの能力は、重い公的債務負担によって低下しています。これまでのところ、船は強靭さを示していますが、その状態を維持するには多大な努力が必要となります。

テクノロジーは、太古の昔から私たちとともにありましたが、今、どのような点が新しいのでしょうか。これまでと違うのは、物事が**圧倒的な速さ**で変化していることです。ものすごく刺激

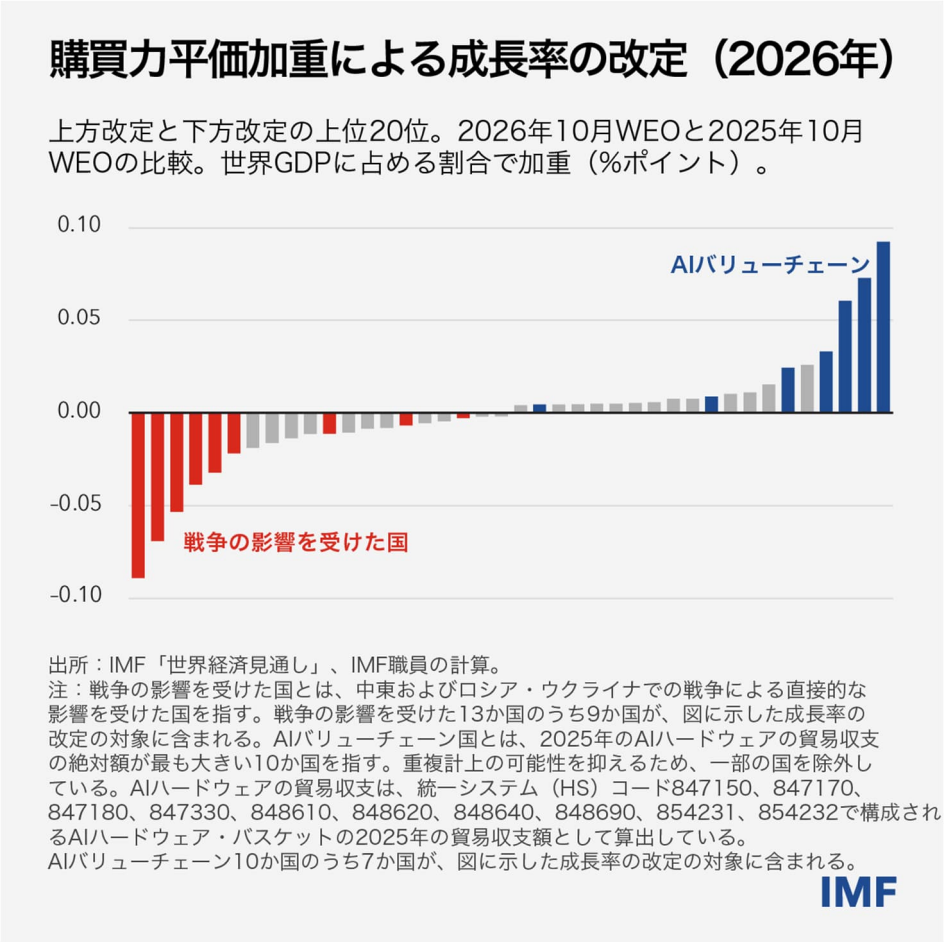
的であると同時に恐ろしくもある AI に加えて、私たちは、先端ロボティクスや量子コンピューティング、ハイパークラウド、フィンテック、医学の目覚ましい進歩を目の当たりにしています。

地政学においては、**不信の空気**が、経済的効率性を重視する各国の従来の姿勢に、安全保障上の懸念を追加しています。一部の地域では、世界貿易体制に対する不満が混乱を引き起こし、また、ウクライナから湾岸地域に至るまで戦争が広がっています。

こうした大規模な変化を踏まえれば、世界経済が**これほど安定**しているのは驚くべきことです。2025 年 10 月に、私たちは今年の成長率を 3.1%と予測していましたが、1 年経った今も、予測は 3.1%のまま変わっていません。その間に、貿易の流れはあらゆる障害を避けながら維持されてきました。

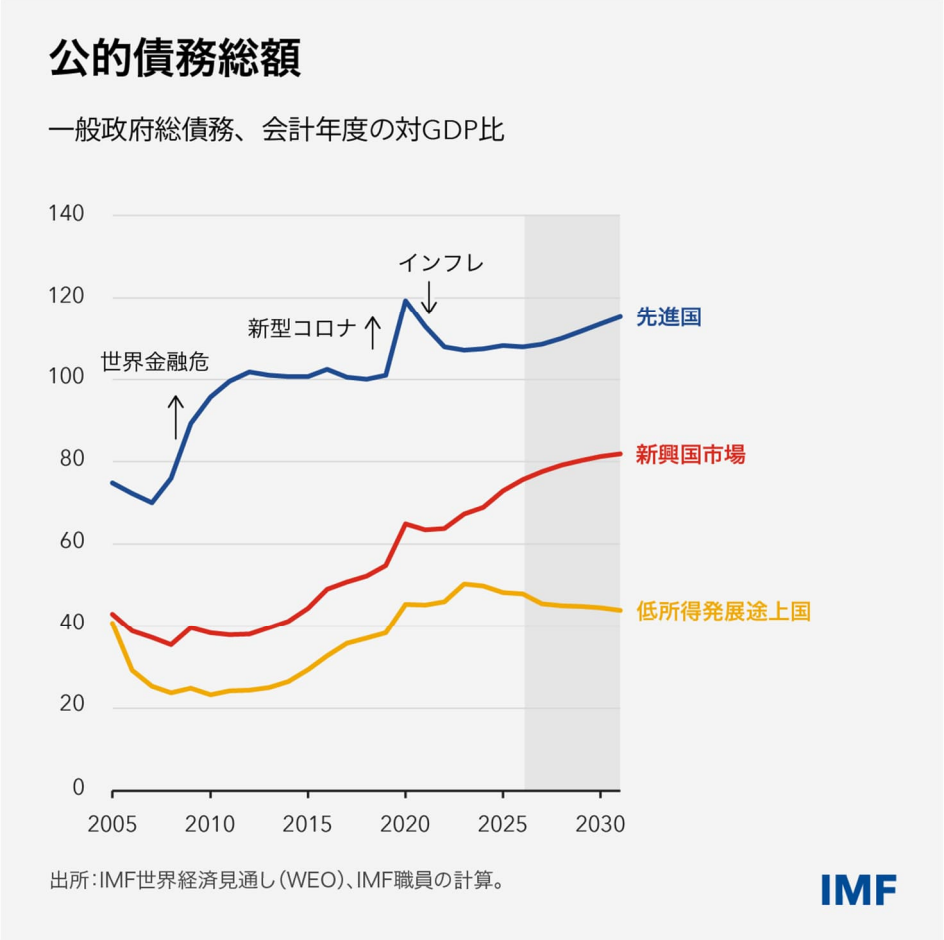
こうした安定的な成長は、成長を損なうエネルギーショックと、成長を押し上げる AI ブームという**ふたつの相反する大きな要因**を差し引きした結果です。

しかし、詳しく見てみると、大きな差（**図 2**）があるのがわかります。戦争の打撃を受けている国では、成長率が大幅に下方改定されているのに対して、米国や中国、インドなど、AI のバリューチェーンに組み込まれている国については、上方改定されています。



そして、あまりにも多くの国が、あまりにも大きな公的債務（図 3）を抱えています。富裕国が最も問題ですが、債務水準は新興市場国でも上昇しています。低所得国は、公的債務の対 GDP 比が低い傾向にありますが、利払い負担が大きく、増加しています。それにより、公的援助が減少していることと

合わせて、開発支出が圧迫されています。



こうした交錯する潮流が**マクロ経済に与える影響**ははっきりしています。

- 第1に、エネルギー供給ショックは、**インフレ率を押し上げ、成長率を押し下げます。**[海運（図4）](#)は、依然と

して危険にさらされています。製油所や天然ガスの不足が痛手となっています。北半球の国々は、冬を迎える中で、燃料備蓄の積み増しを迫られています。



- 第2に、高水準の債務と赤字は、各国のショックを緩和する力を低下させ、

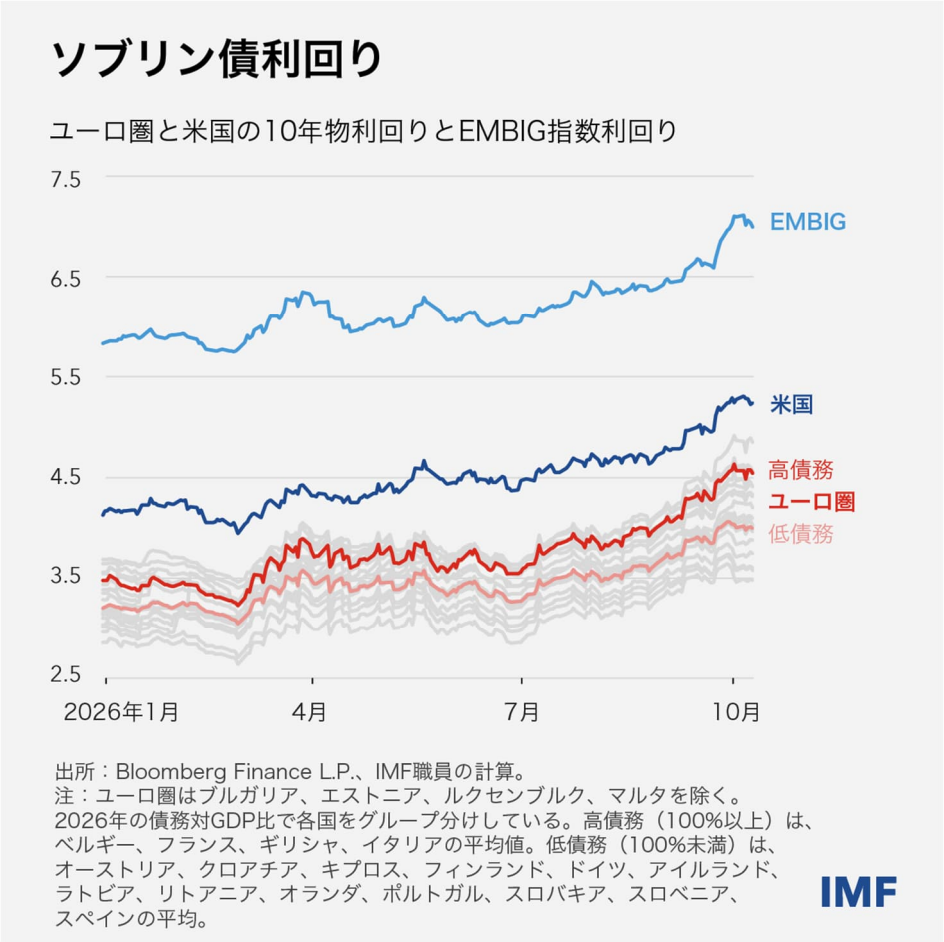
インフレを促す恐れがあります。そして、成長は助けになるものの、現実的にあり得る成長の加速だけで、財政努力なしに債務の拡大傾向を十分に速く逆転させることはできません。

- 第 3 に、AI の急速な普及は確かに**成長を押し上げ**ますが、短期的にはインフレも加速させます。AI は莫大なインフラニーズを生み出しており、その資金は次第に借入で調達されるようになっています。確かに、生産性の向上が実現しつつあり、さらなる向上が期待されますが、どのくらいの規模とスピードになるかはわかっていません。

さらに、今年の**スーパーエルニーニョ現象**がインフレ圧力に拍車をかけ、食料価格に影響を与えて貧困層に最も大きな打撃を与えているとともに、その他の混乱を引き起こしています。

こうしたすべてのことの結果のひとつとして、**債券市場が私たちに何かを語りかけています**。米国とドイツ、日本の 10 年物国債利回りは、今年になって大幅に上昇し、足元でそれぞれ 2002 年、2009 年、1996 年以来最高の水準に達しています。

こうした**ベンチマーク金利の上昇**は、新興市場国と、ユーロ圏を含む先進国・地域（図5）の双方で、利回りを押し上げています。当然のことながら、債務が大きい国ほど上昇幅が大きくなっています。重要なのは、市場の動向は秩序を保っているということです。



インフレ率を押し上げる複数の要因があり、最近の高インフレの記憶がまだ鮮明に残る中、中央銀行は**物価の安定に全力で集中**すべきです。IMF は、米連邦準備制度と欧州中央銀行、日本銀行による最近の引き締め対応と断固たる発言を支持しています。

後手に回り、将来的により大幅な金利引き上げによって対応の強化を余儀なくされるよりも、今日利上げを行う方が適切です。しかしながら、金融政策の引き締めは、政府の資金調達コストを押し上げることになり、短期公的債務が大きい場合には、そのペースがさらに速くなります。

避けられない結論として、最も債務が大きい国では、安定性を維持するために**財政健全化**が必要になります。各国政府は、一部のケースでは先行的な措置を支えに、信頼性のある中期的な財政計画を策定する必要があります。

私たちの財政規律への呼びかけは、大きな債務と赤字を抱える**システム上重要な先進国**に特に当てはまります。世界全体に与え得る波及効果を踏まえると、自国のためだけでなく、他国を支援するためにもです。

健全化は、常にどこでも容易ではありません。政策当局者は、それが必要な理由を説明し、最も脆弱な層を保護しつつ、できる限り将来の成長を犠牲にしない計画を立て、潜在成長力を高めるための**構造政策**によって財政改革を補完する必要があります。

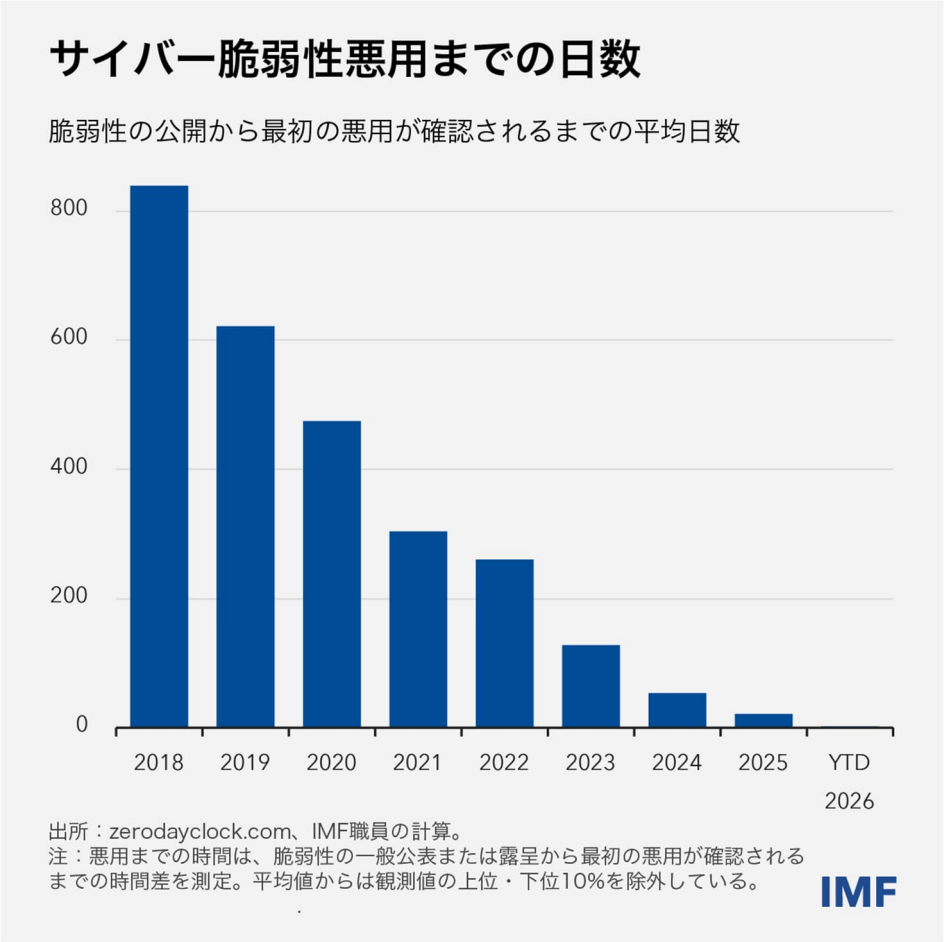
AI をめぐる動きの速さを踏まえると、そうした構造政策の中でも、**AI への備え**を確保するための対策が特に重要となります。その中身は、AI のプロバイダーであるか、サプライヤーであるか、導入する側であるかに応じて、国によって異なります。

スマートフォンで利用できる単純な AI は、非常に幅広い人に開かれたものになる可能性があります。SF 作家ウィリアム・ギブソンは、「未来はすでにここにある。ただ均等に行きわたっていないだけだ」と述べています。私たち

の仕事は、**その未来を全員に届ける**ことです。

同様に、すべての国が、若者の失業から課税ベースの空洞化、金融不安に至るまで、AI のもたらす非常に大きなリスクから身を守る必要があります。恐らく、最も憂慮されるのはサイバーリスクでしょう。それは、金融の混乱やインフラの寸断、あるいはもっと深刻な事態への恐れを呼び起こしています。

私たちは、サイバー攻撃の数が急激に増加しているのを目の当たりにしていると同時に、脆弱性の発見から悪用までの時間（図 6）は、月単位から数時間単位へ、そして間もなく分単位へと急速に短縮しています。私たちは、「善人」が常に「悪人」の一歩先を行くように**競争**しています。



ボーダーレスでグローバルな AI システム全体の強さは、最も脆弱な部分によって決まる可能性があります。あらゆる場所で、監督当局がサイバーレジリエンスの強化に取り組めるようにすることは、**公共財**の問題となります。

これらをはじめとする分野で、今まさに求められているのは、**緊急かつ実践的な国際協調**です。そこで、IMF が行っていることについてお話ししたいと思います。

私たちは、能力開発の取り組みや「金融セクター評価プログラム（FSAP）」を通じて、各国が**自国の金融システムを強化する**のを支援しており、それには世界的なサイバーセキュリティ課題への対策も含まれます。

毎年、金融監督に関する約 300 件の技術支援や研修プログラムと、約 15 件の FSAP を実施しています。さらに今年は、私たちが最先端にとどまり続けることを目的とする、5 年ごとの **FSAP 見直し**も完了しました。

本日私は、まさに同じ理由で、IMF のサーベイランス業務や融資のコンディショナリティ、低所得向けの債務持続

可能性評価の手法についても**包括的な見直し**を完了したと報告できることをうれしく思います。

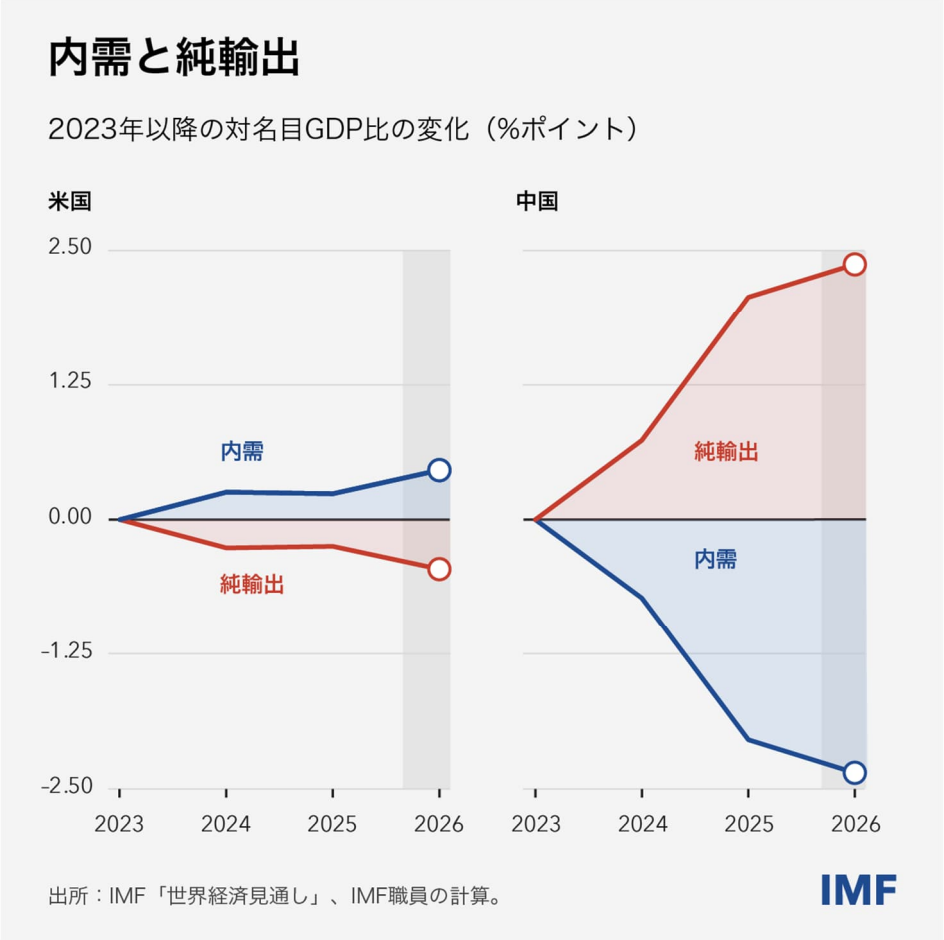
IMF は、みなさんの IMF は、**歩みを止めることはありません**。

基本的に、IMF のマクロ経済業務は、**国内および世界的な不均衡**への対処に関するものです。すでにお話ししたとおり、財政の不均衡であり、また、各国内および各国間の民間貯蓄と投資、貿易の間の不均衡でもあります。この点について、IMF は評価手法と助言を深化させています。

私たちは、主要加盟国に対して、この課題を非常に真剣に受け止めるように促しています。米国は貯蓄を増やす必要があり、中国は消費を増やす必要があり、欧州は投資を増やす必要があります。いずれにとっても、**多くの政策の宿題**があります。米国では財政健全

化、中国では経済的決定に対する政府の関与の低下と社会的セーフティネットの改善、欧州連合（EU）では統合の深化です。

短期的には、トレンドは誤った方向（図7）に向かっており、米国は引き続き内需に過度に依存し、中国は純輸出に依存しています。しかし、これは中期的な取り組みであり、世界的な脆弱性の蓄積を食い止めることが目的です。



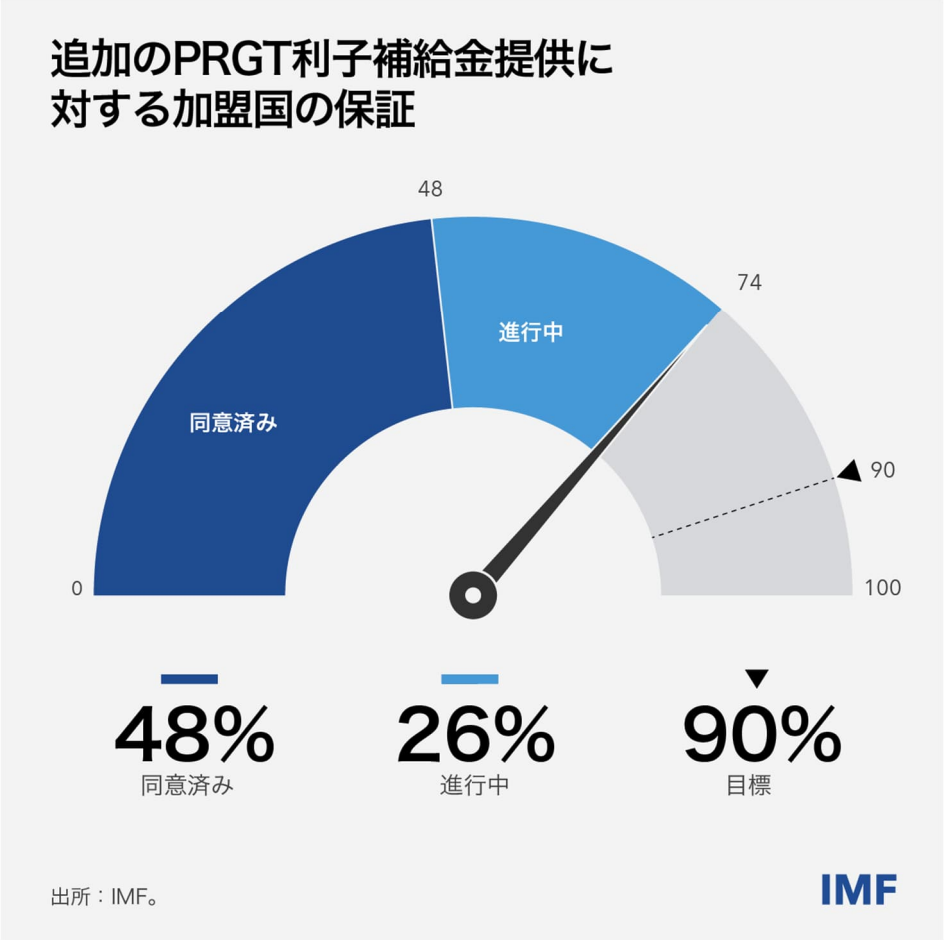
その過程で、つまずく国も出てくるでしょうが、その場合には、**私たちが受け止めます。**現在、IMF の融資残高と未実行の融資承諾額（図 8）は 2400 億ドルに上り、未使用の融資能力はその約 3 倍あります。IMF の譲許的融資は360億ドルに上っており、歴史的平均の約 4 倍に相当します。



その話に関連して、加盟国のみなさんに、**ひとつ重要なお願い**があります。

私たちは、IMF の主要な譲許的融資制度である貧困削減・成長トラスト（PRGT）を自立性の軌道に乗せるためには、中間勘定（図9）からの分配につ

いて広範な承認が必要という点で合意しました。



これまでに、39 か国から同意の確約が得られ、合計でほぼ 48%に上っています。私は、EU 諸国が保証提供に向けた道筋を見出すために取り組んでいることを歓迎します。その拠出の合計に

よって、74%に到達することが可能となり、90%が合意目標である枠組みの成功にとって非常に重要です。ほかのみなさんにも、**ゴールに到達**できるように、支援をお願いしたいと思います。

それと同時に、すでに PRGT に対する支援を約束してくださった国と、すべての**能力開発のドナー国**に、心から感謝したいと思います。今回の年次総会の最中に、能力開発に対して新たに 1 億ドル以上の拠出を約束していただきました。これは、年間の能力開発支出の約 4 分の 1 に相当する大きな成果です。

そろそろ締めくくりましょう。この美しい国に身を置いて、**故プミポン国王陛下**の言葉を引用して終えるよりも良い方法は思いつきません。「利益や望ましい結果は、ひとりでに生じるのではない。むしろ、時間をかけて徐々に

育まれ、積み重ねられ、強化されなければならない」とおっしゃいました。

これこそが、**私たちの仕事の真髄**です。人々の生活向上のたゆまぬ追求です。それには時間がかかります。粘り強さも必要です。そして、私たちが協力する時に、最も効果的となります。IMFは、191の加盟国とともに、この目標に向けて引き続きたゆまず取り組んでいきます。

タイに感謝します。みなさん、そしてアジェイ、ありがとうございました。